

東部の窓

～校長室だより～



豊川市立東部小学校

令和6年7月16日

【←「ペア運動すごろく」より】

野外活動 5年生・きららの里へ(6/19~21)



「一致団結～東部魂よ 燃えさかれ 絆をふかめ 自然のすごさを知りつくせ!～」このスローガンのもと、子どもたちは、2泊3日の活動を通して、自然の魅力を肌で感じるとともに、友達との結びつきが強くなりました。／1日目のプログラムは、川遊び、カレーライス作り。また、ファイヤーでは、ゲームや「マイムマイム」などを楽しみました。希望者による「光の舞」は、暗闇にオレンジ色の光が映え、感動的な演技でした。2日目は、森林教室、木工教室、ネイチャーゲーム、豚汁作り、星の観察を行いました。森林教室では、原生林と人工林の違いや、木の種類による手触りの違いなど、多くのことを体験を交えて教えていただきました。夕食では2日間とも飯盒で炊いたご飯を食べました。1日目には硬いご飯を食べた班も、2日目はうまく炊けていました。／寝食を共にし、一致団結してプログラムに取り組んでいく中で、5年生の絆が次第に深まっていく様子が見られました。今後、高学年として6年生とともに、学校を引っ張っていってくれそうです。



eye(あい)さつ交わして、みんな 2525(にこにこ)

東部小は委員会活動が盛んです。各委員会で内容を工夫しながら企画し、活動をしています。生活委員会もその一つです。生活委員会では、常時活動として、2と5のつく日の朝に委員の子が各教室に向き、積極的にあいさつ運動をしています。児童会が日ごろから大切にしている活動『キラキラ東部小』(元気にあいさつ/きれいにそうじ/東部小スイッチ)の一環です。先月下旬には、「eye さつ 2525 運動」週間があり、あいさつをする子が増えました。キャッチフレーズのように、相手の目を見てあいさつすることで、お互いの「にこにこ笑顔」につながりました。

ところで、「あいさつ」は漢字で「挨拶」と書きます。「挨」は「心を開く」、「拶」は「相手に迫る」という意味があるそうです。つまり、「挨拶」は、「互いの心を開き、相手の心に近づく」ことになります。友達どうしや自分の周りにいる人たちとのつながりを強め、豊かな人間関係を築いていくために、東部小ではこれからも、あいさつ運動を重視していきたいと思います。



【たすきをつけて運動中】

夏はやっぱプールですね

「今日はプールだ!」教室からプールに向かう子どもたちは、どの子もうれしそうな表情をしています。プールから教室へ戻る子どもたちに出会うと、「おさっち(よく子どもにこう呼ばれます…)、プール楽しかったよ!」「気持ちよかったよ!」と話しかけられます。子どもたちは大人が思う以上に、水泳を心待ちにしている様子がうかがえます。学級での水泳の学習の他、プールでペアの交流もあり、活動の幅が広がりました。また、大人ちょボラとして保護者ボランティアの方が来校され、子どもたちを見守ってくださっています。ご協力ありがとうございます。



「はきものをそろえる」こととは…

「はきものをそろえると 心もそろう／心がそろうと はきものがそろう／ぬぐときにそろえておくとはくときに心がみだれない／だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう／そうすればきっと 世の中の人々の心もそろうでしょう」

この詩は、あるお寺の住職だった方がつくられたものです。はきものをそろえることは、「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたのでしょう。つまり、「はきものが散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている。」ということです。

写真は、授業中、校内を回っていた時のものです。下駄箱やトイレのはきものがきちんとそろえられていて、とてもすがすがしい気分になりました。はきものをそろえるというちょっとしたことですが、いつも落ち着いた生活を送るためには、大切なことだと思います。(各学年の下駄箱にある表示「くつをそろえる1秒の心のよゆうをもとう」もいいメッセージですね…)



東部っ子・フォトギャラリー

笑顔があふれる東部っ子の活動を紹介！(OSA.T)



上下水道出前講座（4年）



第1回授業公開日



おはなし広場



給食試食会（PTA）



ペア運動すごろく



ペア活動



おはなし6年隊



菊農家見学（3年）



にこにこ集会



ペアで水遊び



いきものさがし（2年）



読み聞かせ



保護者の皆様、地域の皆様、各ボランティアの皆様、1学期の学校教育活動に対し、ご理解とご協力ありがとうございました。

